

# 第83期 中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜りまことにありがたく、御礼申し上げます。ここに第83期中間報告書（平成19年4月1日～平成19年9月30日）をお届けし、当中間期の業績の概況、事業の概況、経営方針につきましてご説明いたします。

### 業績の概況

連結売上高につきましては、シート、ドアトリムなどの増産により、前年中間期に比べ886億円（18.0%）増加の5,817億円となりました。うちシート、トリムなどの内装品は、増産などにより前年中間期に比べ781億円（17.7%）増加の5,205億円となり、フィルター・パワートレイン機器部品は、エアフィルターなどの増産により前年中間期に比べ55億円（15.6%）増加の409億円となり、繊維・外装品他は、エアバッグ用布製品や補給用ハンパーなどの増産により前年中間期に比べ49億円（32.6%）増加の203億円となりました。

連結経常利益につきましては、製品価格の変動や労務費の増加などの減益要因がありましたものの、増産増収の効果、グループあげての合理化などにより、前年中間期に比べ95億円（46.6%）増加の300億円となりました。連結中間純利益につきましては、中国子会社の特別利益として過年度仕入修正益を加え、前年中間期に比べ74億円（61.6%）増加の194億円となりました。

当期の中間配当金につきましては、前期の中間配当金に比べ6円増配して、1株につき15円とさせていただきます。また、年間の配当金につきましては、前期に比べ6円増配の1株につき30円を予定しております。

### 事業の概況

当社グループは自動車内装システムサプライヤーとして、提案力の強化を進めており、トヨタ自動車株式会社のグローバル車種であるカローラが中国および南アフリカにおいて生産開始となりました。またフラッグシップ車・レクサスLS600hにはじめて採用された、熟練した匠の技と最新デジタル技術により実現した本革張りインストルメントパネルや、ヴォクシー・ノアに採用された、1回のレバー操作で自動的にサードシートを格納できる世界初のワンタッチスペースアップシートなど、快適性、使いやすさを積極的に追求してまいりました。また、自動車用フィルター総合メーカーとしては、性能向上や低コスト化に加え、モジュール化、システム化、



取締役会長 好川 純一 取締役社長 豊田 周平

環境対応、快適性向上など社会のニーズにマッチしたより付加価値の高い新製品の開発と生産に注力してまいりました。

経営体制といたしまして（1）ミッションを明確にするとともに、各事業に横串をさし、業務を一体化する目的で「本部制」を、また（2）世界の4つの地域を機能横断的に管理統括するため「グローバル地域統括制」を採用し各事業を推進してまいりました。グローバル展開といたしましては、世界各地でお客様のニーズに応えられる生産・供給体制の構築に取り組み、平成19年9月にはアメリカミシシッピ州フルトン市にシート、ドアトリムなど内装品の生産子会社「トヨタ紡織 ミシシッピ」を設立しました。

### 経営方針

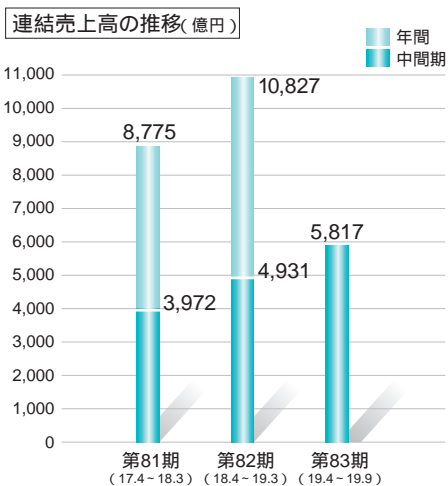
急速な海外展開を進めるなか、当社グループでは真のグローバルカンパニーを志向して、新技術・新製品を世界に提供する競争基盤を一層強化してまいりました。今後も「よき企業市民として社会との調和ある成長を目指す」という基本理念のもと、株主のみなさまをはじめお客さま、従業員、地域社会のみなさまの信頼に応えるとともに「モノづくり」の精神を大切に、2010年代半ばに「世界トップレベルの内装システムサプライヤー・フィルターメーカーとして、世界各地で活躍できる真のグローバルカンパニー」となることを目指してまいります。その基盤を確立するため、2010年までを「第2の創業期」と位置づけ、真のグローバルカンパニーへの「足元固めのための取り組み」と「将来の発展のための先行施策の取り組み」の両面から実力強化への施策を積極的に推進し、2010年度連結売上高1兆3,000億円、経常利益率5%を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

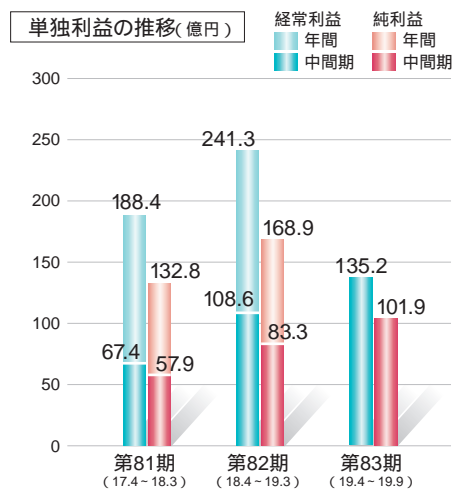
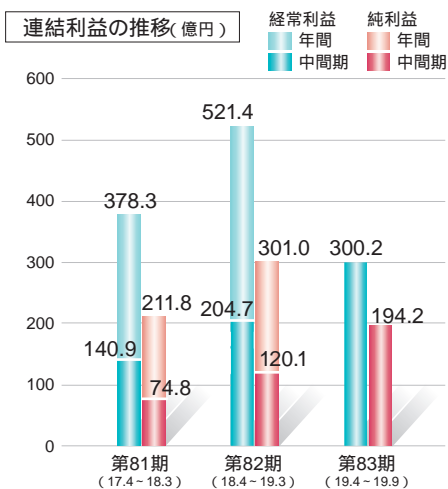
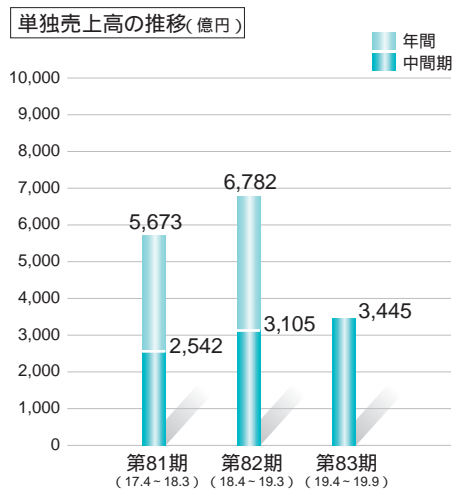
平成19年11月

取締役会長 好川 純一 取締役社長 豊田 周平

## 連結決算



## 単独決算



LEXUS  
レクサス LS600h



### 本革張りインストルメントパネル



#### 匠の技と、最先端の生産技術が融合して完成。

インストルメントパネルは車室空間を構成する中心的な要素であり、乗車時に常に目に触れるため、見栄え品質を特に重視。フラッグシップ車にふさわしいモノづくりをするために、「欧州の老舗高級ブランドの品質」をスローガンに、既存の概念にとらわれず素材から加工技術、作業者の意識に至るまですべてを見直しました。素材の本革は、最高級ランクのもののみを使用。革本来の美しい風合いを生かすため、インストルメントパネルの形状と曲線に合わせた立体的な裁断と手作業による精緻な縫製をほどこしています。さらに、化学反応を利用してインサート(基材)と革の接着面を洗浄したり、革を張り込む際、ずれないように機械で位置決めするなど、これまでにない生産技術を導入。手づくりを基本に、匠の技を最先端の設備がサポートする独自の生産ラインを構築することで、工業製品の域を超えた「工芸品」を完成させました。

トヨタ  
ヴォクシー・ノア

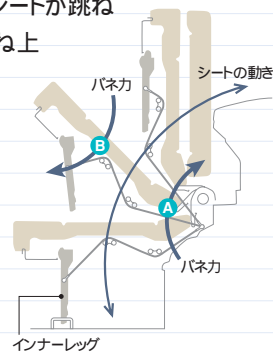


### ワンタッチスペースアップシート



#### ワンタッチ操作で、スムーズにシートを格納。

新開発のワンタッチスペースアップシートは、シート下のレバーを1回操作するだけで(1)背もたれを前に倒す(2)ロックの解除(3)シートの跳ね上げ(4)インナーレグ(シートの脚)の格納ができるシートです。安全面の配慮から、座面と背もたれに荷物などが挟まったままシートが格納されないよう、背もたれが完全に前に倒れてからでないとシートが跳ね上げられない安全機構を開発。跳ね上げ時の速度調整にも、通常用いられるダンパー等を使わず、シートを格納しようと働くバネ力①と、インナーレグが戻ろうとするバネ力②の互いに反発しあうバネ力を、ワイヤーで結んでバランスさせる独自の機構を採用しました。



内装品事業—— 社会の、そして自動車メーカーのますます高度化するニーズに応じて、売上高5,205億円を実現。

当社グループは車室内全体をトータルに捉え、車室空間全体のコンセプトづくりから開発・設計・調達・生産まで一貫して行う内装システムサプライヤーとして独自の地位を築いており、車両メーカーや仕入先との緊密な連携のもと、初期段階から内装システムの開発に携わって商品力の一層の強化を図っています。単にパーツやモジュールを組み合わせるのではなく、シート、ドアトリム、天井、カーペットなどから構成される車室空間を統合的・効率的にコーディネートされたシステムとして捉え、トータルの美しさや快適性・安全性を追求しているのももちろん、製造から廃棄までの各段階における環境負荷の軽減を徹底しています。今後は繊維・外装品事業とも連携しながら電子技術の強化と拡大、シート機能部品開発の強化などをすすめてまいります。増産による効果に加え、年々高度化する社会のニーズ、自動車メーカーからの要請にタイムリーに応えることにより、連結売上高は、前年中間期に比べ781億円(17.7%)増加の5,205億円となりました。



シート



ドアトリム



フロアカーペット



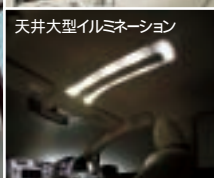
電動サンシェード



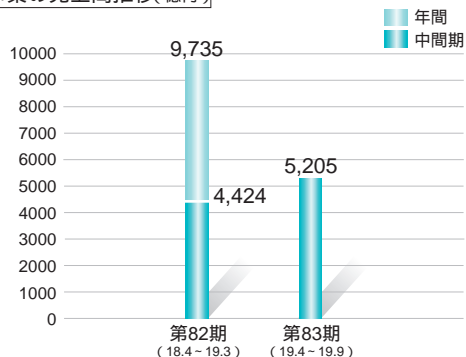
成形天井



天井大型イルミネーション



内装品事業の売上高推移(億円)



## フィルター・パワートレイン機器部品事業 —— 世界トップの自動車用フィルターメーカーとして、より高性能な製品づくりを追求。

当社グループの源流事業である繊維技術を生かして、世界をリードするフィルトレーション技術の向上に努めており、高効率、長寿命、低圧力損失を実現する世界トップのフィルター製品を開発・生産しています。

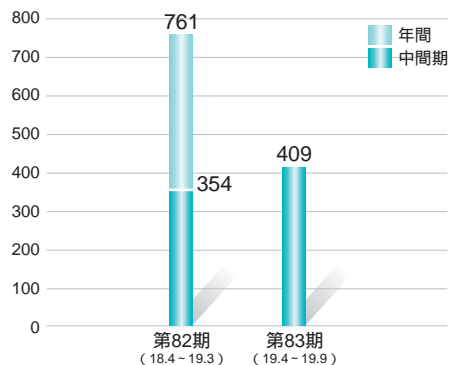
エンジン吸気系ではエンジンの高効率化や小型・軽量化に対応した吸気システム製品を、またエンジン潤滑系では環境負荷を大幅に低減したエレメント交換型オイルフィルターを、さらに車室内空調系では高性能除塵脱臭フィルターや高性能花粉除去フィルターなどを開発・生産しています。今後は吸気系トータル性能を企画・設計できるシステムメーカーとしての実力を磨くとともに、潤滑系・空調系フィルターの次世代開発を積極的に行ってまいります。

連結売上高は、エアフィルターの増産などにより前年中間期に比べ55億円(15.6%)増加の409億円となりました。

吸気システム製品



フィルター・パワートレイン機器部品事業の売上高推移(億円)



オイルフィルター



エアフィルター



キャビンエアフィルター



オートマチックトランス  
ミッションフルード用フィルター



HC吸着フィルター



(ガソリン蒸気吸着フィルター)

エアクリーナー



インテークマニホールド



エアクリーナー  
一体型シリンダーヘッドカバー



ABSコイル

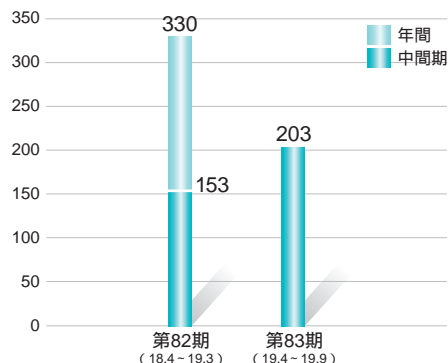


繊維・外装品他事業 —— 新規素材の開発をはじめ、より一層の快適性の追求や環境にやさしい製品づくりを推進。

時代のニーズを先取りして、より一層の快適性・高機能を追求した製品づくりを進めています。繊維事業では、エアバッグ用布製品をはじめシートファブリックや天井表皮材、および高機能ユニフォームなどの分野で新規素材の開発を行っているほか、環境にやさしい製品づくりへの取り組みを積極的に推進しています。今後は内装品事業と連携を深め、シートファブリックやカーペット、エアバッグ、シートベルトなどの技術開発力の強化、シートファブリックのデザイン力強化に取り組んでまいります。また外装品の分野では高度な安全性が要求される補給用バンパー、剛性に優れコスト競争力を持つフェンダーライナーやエンジンアンダーカバーの生産を行っています。連結売上高は、増産により前年中間期に比べ49億円(32.6%)増加の203億円となりました。

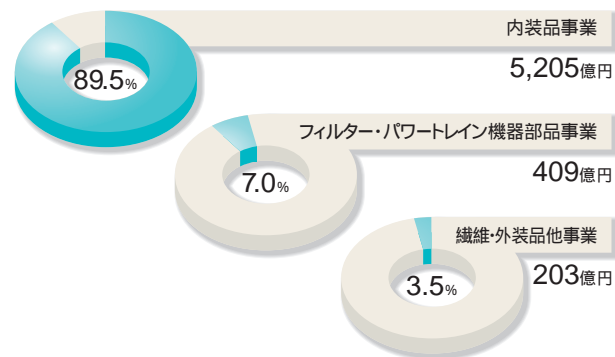


繊維・外装品他事業の売上高推移(億円)



事業別情報

各事業の売上構成(第83期 19.4-19.9)



■…………地域統括・開発・営業拠点  
●…………生産拠点



## 海外関係会社 (平成19年9月30日現在)

### アジア

地域統括・開発・営業拠点 / 豊田紡織(上海)有限公司 トヨタ紡織 アジア  
 生産拠点 / 成都豊田紡織自動車部有限公司 豊織(広州)自動車座席部有限公司 広州桜泰自動車部有限公司 昆山豊田紡織自動車部有限公司 寧波垂梁克汽車部有限公司 寧波豊田紡織自動車部有限公司 上海豊田紡織自動車部有限公司 天津豊織自動車座席部有限公司 天津英泰汽車部有限公司 天津華豊汽車裝飾有限公司 天津豊田紡織自動車部有限公司 佛山豊田紡織自動車部有限公司 新三興股份有限公司 トヨタ紡織 オートモーティブ  
 インディア アパティパンド オートテック トヨタ紡織 UMW トヨタ紡織 フィリピン ARST(タイランド) SK オート インテリア STB テキスタイルズ インダストリー タイシートベルト トヨタ紡織 フィルトレーションシステム(タイランド) トヨタ紡織 ゲートウェイ(タイランド) トヨタ紡織 ハイフォン トヨタ紡織 ハノイ 他1社

### 北中南米

地域統括・開発・営業拠点 / トヨタ紡織 アメリカ  
 生産拠点 / ARJ マニュファクチャリング エコ テクノロジー TBDN テネシー トータル インテリア システムズ アメリカ トヨタ紡織 マニュファクチャリング ケンタッキー トヨタ紡織 ミシシッピ トリム マスターズ トヨタ紡織 カナダ アラコ デメキシコ トヨタ紡織 モンテレー マスタートリム デアルゼンチン 他13社

### その他

地域統括・開発・営業拠点 / トヨタ紡織 ヨーロッパ  
 生産拠点 / トヨタ紡織 フランス TBMECA ポーランド トヨタ紡織 ロシア トリム リーダー トヨタ紡織 トルコ トヨタ紡織 南アフリカ トヨタ紡織 オーストラリア 他1社

## 連結子会社および関連会社 (平成19年9月30日現在)

	子会社	関連会社
日 本	16社(16社)	6社(4社)
北 中 南 米	24社(23社)	1社(1社)
ア ジ ア	23社(23社)	5社(5社)
そ の 他	7社(7社)	2社(2社)

( )内は前期

## 国内関係会社(50音順)

子会社  
 生産会社  
 株式会社KYOEI ARACO  
 株式会社TB岩手  
 トヨタ紡織九州株式会社  
 トヨタ紡織滋賀株式会社  
 ファミンク株式会社  
 アラコ九州相知株式会社

### その他

タカテック株式会社  
 株式会社TBエンジニアリング  
 TBクリエイティブ株式会社  
 TBコーポレートサービス株式会社  
 株式会社TBテクノグリーン  
 株式会社ティービーハイテック  
 TB物流サービス株式会社  
 株式会社テクニカルリンクスデザイン

(平成19年9月30日現在)

関連会社  
 株式会社関東シート製作所  
 株式会社関東シート北上  
 株式会社コベルク  
 トヨタ車体精工株式会社  
 ナルコ株式会社  
 ハイニード工業株式会社

10月1日付で、国内子会社の再編を行いました。は、新社名での表記です。



## 地域別の概況

## 日本

国内売上高は、トヨタ自動車株式会社のレクサスのフラッグシップ車であるレクサスLSの内装品生産が増加したこと、また、ヴォクシー・ノアのモデルチェンジなど新車内装品生産が増加したことにより、前年中間期に比べ336億円(11.2%)増加し、3,327億円となりました。

## 北中南米(アメリカ・カナダ・メキシコ・アルゼンチン)

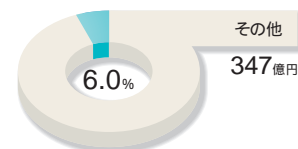
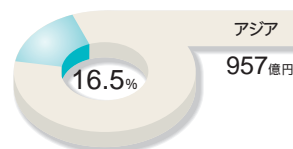
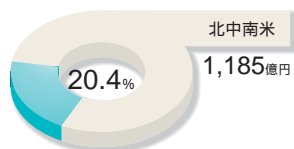
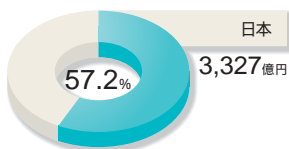
北中南米の売上高は、モデル末期であるセコイアなどの生産減、カマリの生産増など車種により好不調のバラツキはあるものの、前年中間期に比べ、37億円(3.3%)増加し、1,185億円となりました。

## アジア(中国・タイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・インドなど)

アジアでの売上高は、タイ、インドネシアでトヨタ自動車株式会社のIMVシリーズの生産が増加したこと、中国で新型カローラ、カムリ、クラウンなどほとんどの車種で内装品生産が増加したことなどにより、前年中間期に比べ、360億円(60.3%)増加し、957億円となりました。

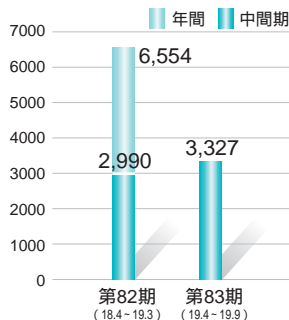
## その他(ベルギー・トルコ・南アフリカ・オーストラリアなど)

その他地域での売上高は、トルコでシートフレームの生産を開始したこと、南アフリカでトヨタ自動車株式会社のIMVシリーズの生産が好調であること、さらにオーストラリアでカマリの内装品生産が増加したことなどにより、前年中間期に比べ、151億円(77.6%)増加し、347億円となりました。

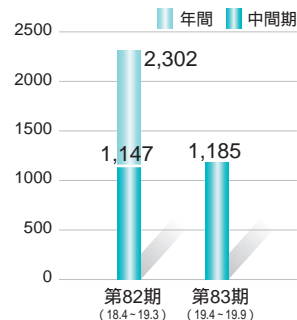


## 売上高の推移(億円)

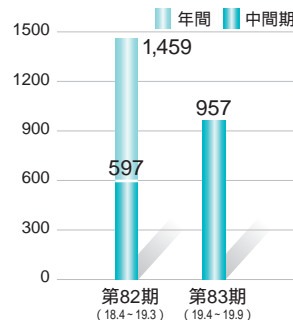
## 国内売上高の推移



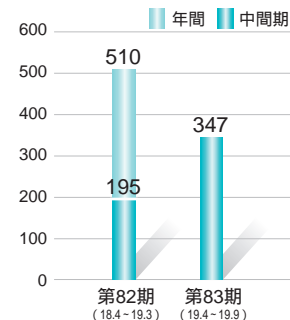
## 北中南米売上高の推移



## アジア売上高の推移



## その他地域の売上高の推移



## グローバル展開

### アメリカに生産子会社を設立。中国で生産開始。

平成19年8月、アメリカ・ミシシッピ州に内装品の生産子会社「トヨタ紡織 ミシシッピ」を設立することを発表しました。また、中国でシートフレーム等の生産子会社1社が生産を開始しました。さらに7月に、トルコの生産子会社で、第2工場の開所式を実施。欧州地域での

新たに設立した会社

国	設立	社名	生産品目	備考
アメリカ	平成19年8月	トヨタ紡織 ミシシッピ	シート、ドアトリム、フロアカーペット	

生産を開始した会社

国	生産開始	社名	生産品目	備考
中国	平成19年5月	天津豊愛汽車座椅部件有限公司	シートフレーム、シート用機能部品	アイシン精機株式会社との合併

一貫したシート生産体制を整えました。7月にはタイの関係会社を子会社とし、タイを中心としたアセアン地域での開発、生産体制を一層強化しました。



トヨタ紡織 ミシシッピ開所式

## 国内展開

### トヨタ紡織滋賀株式会社で、竣工式を開催。

平成19年8月、かねてより建設を進めてきたトヨタ紡織滋賀株式会社の建物が完成し、竣工式を行いました。トヨタ紡織滋賀株式会社は、ダイハツ工業株式会社に納入するはじめての専用生産

拠点です。自動車用フィルター・パワートレイン機器部品、内装品、補給用バンパーを、平成20年1月から本格生産するため、現在さまざまな工場で訓練・研修を重ねて本稼動に備えています。

## 技術

### 内装システムサプライヤーとして多くの車種を受注し、国内外で生産を開始。

当社グループでは、自動車内装システムサプライヤーとして国内外でクルマづくりの一翼を担っています。国内ではトヨタ自動車株式会社のレクサスブランドのフラッグシップ車であるLS600h、海外ではカローラなどが生産開始となりました。

#### 国内生産開始車種

トヨタ車：ハイランダー、ヴァンガード、ヴォクシー・ノア、プレミオ・アリオン、イスト、ブレイドマスター、カローラ・ルミオン、マークXシオランドクルーザー200、xR(サイオン)  
レクサスブランド：レクサスLS600h



レクサスLS600h

#### 海外生産開始車種

トヨタ車：カローラ(中国、南アフリカ)、世界戦略車IMVシリーズ(台湾) ヴィオス(フィリピン、ベトナム)



マークXシオ

## 環境

### 「地域別環境・安全衛生活動」海外4極で始動。

トヨタ紡織グループ全体の環境負荷低減と職場の安全向上、社員の健康増進のため「グローバル環境・安全衛生活動」を進めています。平成18年度に「地域別環境・安全衛生委員会」を海外の4つの地域統括会社に設け、平成19年4月から地域統括

会社ごとに具体的な活動をはじめました。日本のトヨタ紡織からも委員会に参画するなど、より一層グローバルな視点、より地域に即した取り組みを進め、全トヨタ紡織グループに横串をさした展開が図れるようになりました。

## 社会貢献

### 「ジュニアサポートクラブ」が活動をスタート。



競技開始を心待ちする子どもたち

ジュニアサポートクラブは、子どもたちを対象とした当社独自のプログラムです。次代を担う子どもたちが夢を膨らませ、健やかに成長してくれることを願って立ち上げました。平成19年8月、ジュニアサポートクラブの活動第1弾として「世界陸上2007大阪観戦ツアー」を実施。子どもたちに一流のものを見るかけがえの

ない機会を与え、将来の夢をサポートしました。今後も体験を通して友情の大切さを学び、強い精神力を培うためのプログラムを実施していきます。

### 「骨髄ドナー休暇制度」を導入。

平成19年4月から「骨髄ドナー休暇制度」を導入しました。骨髄提供に要する期間(最大10日間)を、通常の年次有給休暇とは別の特別有給休暇として取り扱うことで就業上の負担を減らし、骨髄ドナーの拡大を図り、社会に貢献することを目的としています。

## スポーツ推進活動

### 日本で世界で、当社ボート部が活躍。

平成19年6月に開催された、国内最高峰の大会「全日本ボート選手権」において「舵手なしフォア」種目で優勝しました。この大会において、当社ボート部は種目別で6年連続優勝しています。また、8~9月にドイツで開催された「世界ボート選手権」に、小畑篤史選手(生産

管理部)と奥村六郎選手(高岡工場)が、「舵手なしフォア」の日本代表として出場しました。



「全日本ボート選手権」優勝後、大会会場にて

# 決算概要

## 連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (19.9.30現在)	前期 (19.3.31現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	266,151	267,325
現金及び預金	52,764	50,918
受取手形及び売掛金	151,053	153,363
有価証券	3,263	10,571
たな卸資産	29,299	26,736
繰延税金資産	5,785	5,616
その他	24,375	20,726
貸倒引当金	390	608
固定資産	210,153	197,422
有形固定資産	170,203	164,723
建物及び構築物	60,973	57,956
機械装置及び運搬具	69,053	69,944
工具器具備品	13,999	13,765
土地	18,086	17,718
建設仮勘定	8,090	5,338
無形固定資産	3,772	3,944
投資その他の資産	36,177	28,753
投資有価証券	11,488	12,851
繰延税金資産	14,002	11,890
その他	10,835	4,168
貸倒引当金	149	156
合 計	476,305	464,747

科目	当中間期 (19.9.30現在)	前期 (19.3.31現在)
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	228,817	236,935
支払手形及び買掛金	156,177	158,226
短期借入金	20,797	22,662
1年内返済予定の長期借入金	378	1,293
未払費用	27,145	27,089
未払法人税等	6,066	7,095
製品保証引当金	2,345	2,280
その他	15,906	18,286
固定負債	30,008	30,015
長期借入金	6,141	6,214
退職給付引当金	19,986	20,008
役員退職慰労引当金	679	755
負ののれん	159	73
その他	3,041	2,962
負債計	258,825	266,950
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	171,905	156,795
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,128	9,104
利益剰余金	156,277	139,664
自己株式	1,899	373
評価・換算差額等	7,362	4,056
その他有価証券評価差額金	1,672	1,937
繰延ヘッジ損益	31	58
為替換算調整勘定	5,659	2,060
新株予約権	45	16
少数株主持分	38,165	36,929
純資産計	217,479	197,797
合 計	476,305	464,747

## 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (19.4.1-19.9.30)	前年中間期 (18.4.1-18.9.30)
売上高	581,763	493,136
売上原価	532,716	454,589
売上総利益	49,047	38,547
販売費及び一般管理費	19,800	19,904
営業利益	29,246	18,643
営業外収益	3,999	3,863
受取利息及び配当金	1,022	724
その他の営業外収益	2,977	3,139
営業外費用	3,220	2,026
支払利息	914	833
その他の営業外費用	2,306	1,192
経常利益	30,025	20,479
特別利益	1,613	939
中国子会社の過年度仕入修正益	1,613	
固定資産売却益		99
米子子会社の健康保険料返金		840
税金等調整前中間純利益	31,638	21,419
法人税、住民税及び事業税	8,665	7,198
法人税等調整額	1,893	718
少数株主利益	5,444	2,923
中間純利益	19,421	12,015

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (19.4.1-19.9.30)	前年中間期 (18.4.1-18.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1 31,564	26,302
投資活動によるキャッシュ・フロー	2 27,223	25,117
財務活動によるキャッシュ・フロー	3 11,070	2,290
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,267	22
現金及び現金同等物の増加額(減少額: )	5,462	1,127
現金及び現金同等物の期首残高	60,089	39,256
現金及び現金同等物の中間期末残高	54,626	38,129

- 1 営業活動によるキャッシュ・フローとは営業活動で生じる現金収支を表します。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フローとは設備投資や出資といった投資活動で生じる現金収支を表します。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フローとは資金の調達・返済、配当金の支払いといった財務活動で生じる現金収支を表します。

## 単独貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (19.9.30現在)	前期 (19.3.31現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	133,045	144,867
現金及び預金	6,430	9,187
受取手形	5,756	5,138
売掛金	91,685	95,378
有価証券	2,559	10,078
製品	1,823	1,731
原材料	4,141	3,500
仕掛品	3,912	3,505
貯蔵品	1,270	1,303
前払費用	1,499	1,970
繰延税金資産	4,707	4,538
短期貸付金	264	286
未収入金	8,545	7,965
その他	454	334
貸倒引当金	4	53
固定資産	149,529	141,836
有形固定資産	76,674	75,424
建物	28,581	27,078
構築物	2,405	2,344
機械装置	24,060	23,926
車両運搬具	404	438
工具器具備品	7,727	8,244
土地	13,350	13,350
建設仮勘定	143	40
無形固定資産	329	320
借地権	269	269
施設利用権	59	50
投資その他の資産	72,526	66,091
投資有価証券	3,844	4,126
関係会社株式・出資金	46,464	40,168
出資金	103	103
長期貸付金	10,652	10,401
長期前払費用	297	657
繰延税金資産	10,699	10,164
その他	590	602
貸倒引当金	126	132
合 計	282,575	286,703

## 単独損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (19.4.1-19.9.30)	前年中間期 (18.4.1-18.9.30)
売上高	344,517	310,549
売上原価	326,254	293,681
売上総利益	18,262	16,868
販売費及び一般管理費	9,777	9,767
営業利益	8,485	7,100
営業外収益	6,716	4,671
受取利息及び配当金	5,733	3,311
その他の営業外収益	983	1,359
営業外費用	1,677	910
支払利息	16	23
その他の営業外費用	1,661	887
経常利益	13,524	10,861
特別利益		99
固定資産売却益		99
税引前中間純利益	13,524	10,960
法人税・住民税及び事業税	3,862	3,047
法人税等調整額	530	417
中間純利益	10,193	8,330

科目	当中間期 (19.9.30現在)	前期 (19.3.31現在)
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	135,496	145,055
支払手形	694	919
買掛金	108,404	110,814
1年内返済予定の長期借入金		625
未払金	4,590	8,517
未払費用	16,193	17,361
未払法人税等	2,945	4,371
製品保証引当金	1,945	1,928
その他	722	517
固定負債	25,277	25,493
長期借入金	5,000	5,000
退職給付引当金	18,447	18,560
役員退職慰労引当金	617	688
預り保証金	1,212	1,245
負債計	160,773	170,548
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	120,083	114,202
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,128	9,104
資本準備金	9,013	9,013
その他資本剰余金	114	90
自己株式処分差益	114	90
利益剰余金	104,455	97,071
利益準備金	2,412	2,412
その他利益剰余金	102,042	94,659
特別償却準備金	21	29
固定資産圧縮積立金	933	963
別途積立金	85,913	74,913
繰越利益剰余金	15,174	18,752
自己株式	1,899	373
評価・換算差額等	1,672	1,936
その他有価証券評価差額金	1,672	1,936
新株予約権	45	16
純資産計	121,801	116,154
合 計	282,575	286,703

# 会社の概況

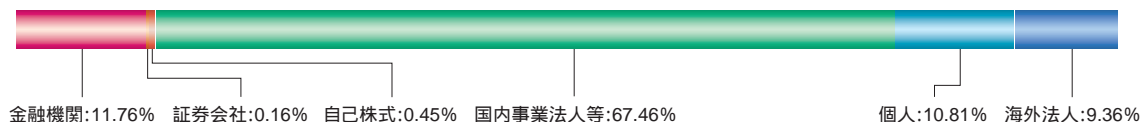
## 株式の状況

(平成19年9月30日現在)

株式の総数 …… 発行可能株式総数 500,000,000株 発行済株式の総数 187,665,738株

株主数 …… 11,343名

所有者別株式分布状況

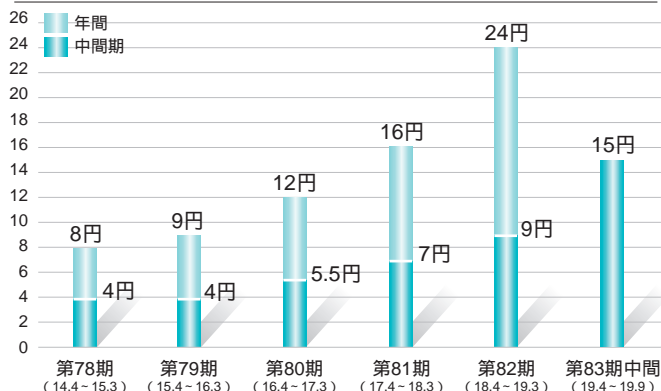


## 大株主(上位10位)

株主名	株式数
トヨタ自動車株式会社	73,873,995株
東和不動産株式会社	18,346,209株
株式会社デンソー	10,192,100株
株式会社豊田自動織機	7,756,062株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,732,500株

株主名	株式数
日本発条株式会社	7,220,525株
日本スタートラスト信託銀行株式会社	6,455,300株
豊田通商株式会社	4,367,100株
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,921,100株
トヨタ紡織従業員持株会	1,500,219株

## 配当金の推移



## IR活動



名証IRエキスポ2007

株主及び投資家のみなさまに、当社の事業内容をより深くご理解いただくため、個人投資家・証券専門家向け説明会の実施やIRイベントへの出展などのIR活動を積極的に実施しております。

## 会社概要

(平成19年9月30日現在)

設 立	昭和25年5月
資 本 金	8 400百万円
従業員数	6,903名
本 社	愛知県刈谷市豊田町一丁目1番地

## 国内拠点

(平成19年9月30日現在)

刈 谷 工 場	猿 投 工 場	田 原 工 場
大 口 工 場	高 岡 工 場	御 殿 場 工 場
い な べ 工 場	土 橋 工 場	東 京 工 場
木 曾 川 工 場	下 山 工 場	東 京 営 業 所
尾 西 工 場	藤 岡 工 場	大 阪 営 業 所
堤 工 場	豊 橋 北 工 場	
岐 阜 工 場	豊 橋 南 工 場	

## 役員一覧

(平成19年9月30日現在)

## 取締役および監査役

取締役会長	好川 純一	専務取締役	川窪 英夫	取締役(常務待遇)	伊藤 文隆	監査役	豊田 章男
取締役社長	豊田 周平	常務取締役	栗谷 本強	取締役	岡本 一雄	監査役	深谷 紘一
取締役副社長	野口 満之	常務取締役	内藤 正	取締役	小川 王幸		
取締役副社長	小野 博祥	常務取締役	古澤 昭	常勤監査役	今泉 潔		
取締役副社長	鳥居 立雄	常務取締役	寺坂 幸一	常勤監査役	横内 則之		
専務取締役	中川 泰	取締役(常務待遇)	古田 潔	監査役	石川 忠司		

## 執行役員

常務執行役員	渡辺 俊充	常務執行役員	宮田 徹	執行役員	野田 憲一	執行役員	滝 隆道
常務執行役員	飯田 耕次	執行役員	千石 郁夫	執行役員	杉江 保彦	執行役員	西岡 義彦
常務執行役員	原 保信	執行役員	上田 広司	執行役員	尾関 信幸	執行役員	堀 弘平
常務執行役員	桂木 正樹	執行役員	清水 匠	執行役員	大島 誠	執行役員	山内 得次
常務執行役員	酒井 賢	執行役員	山本 直	執行役員	山田 義広	執行役員	森 久

## 株式事務のお取扱いについて

---

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会：毎年6月

配当金のお支払い：期末配当金は毎年3月31日現在の株主(実質株主を含む)。または登録株式質権者に、中間配当金を支払う場合は9月30日現在の株主(実質株主を含む。)または登録株式質権者にお支払いします。

株主名簿管理人：〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所：〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711

(同連絡先郵送先)：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711

同取次所：三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 本店および全国各支店  
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。  
電話(通話料無料)0120-244-479(本店証券代行部)  
0120-684-479(大阪証券代行部)  
ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告掲載方法：電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。  
<http://www.toyota-boshoku.co.jp/jp/>

本社所在地：〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町一丁目1番地 電話(0566)23-6611(代表)